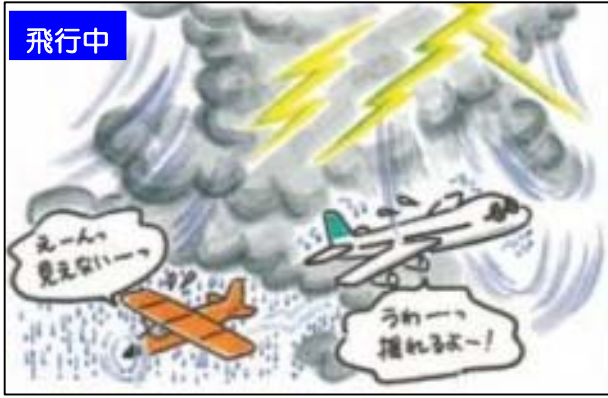


# 「飛行機のための観測と天気予報」

## 飛行機と天気の関係

## 飛行機が空を飛ぶためには天気の情報がとても大切です！



飛行中



空港の近く

(低い雲)

(横風や強風)

飛行機が「安全」で「快適」に飛ぶためには、空の様子を知ることが重要です。空港の管制官や航空会社の運航管理者・パイロットなど、空の仕事には天気の情報が欠かせません。

例えば、気流の乱れや雷は飛行機のゆれや故障につながるので、危険な場所をさけて飛びます。また、空港の近くで霧や雪、低い雲などがあると、滑走路が見えなくなり、飛行機は安全に着陸できなくなります。

そこで、気象庁は、空港の天気を24時間・365日休みなく観測して、飛行機のための天気予報を発表しています。

## 福岡航空測候所のお仕事

## 飛行機のための観測と天気予報

福岡空港には福岡航空測候所があります。ここでは、空港の中にある装置で風や気温、気圧、雨、雲などを観測して30分ごとに通報(お知らせ)するほか、天気が悪くなれば、その変化をただちに通報します。また、飛行機のための天気予報や警報などを発表して、飛行機が安全で快適に空をとべるように役立てられています。

もし、どこかの空港で、「福岡は天気が悪く天候調査中です」というアナウンスがあるようなときは、測候所の人々が、少しの変化も見落とさず観測し、これからの天気予報を考えています。



天気予報を作成中

観測中の様子

- 飛行機は、自分が飛んでいる高さを気圧から計算しているよ。だから、空港で観測した気圧を知らせてあげることが大事なんだ！
- 飛行機は、気温が高くなるとエンジンのパワーが弱くなるんだ。気温が30℃から32℃に上がると、のせることができる荷物が600kgも少なくなる飛行機もあるんだ！

### 豆知識

## 風向きと飛行機の離陸・着陸

飛行機は、普通は風に向かって離陸や着陸をします。これは、うしろから風がふく「追い風」よりも、前から風がふく「向かい風」の方がより短い距離で安全に離陸・着陸ができるからです。

福岡空港の場合、滑走路はほぼ南北にのびているため、北風がふいていれば南から北に向けて、南風なら北から南に向けて、離陸・着陸をしています。福岡市周辺で飛んでいる飛行機を見て、太宰府の方から空港に向かっていたら、北風がふいているってことですね。



風向風速計



2015年	2月5日	木曜日
平成27年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	<a href="mailto:fk-kanku@met.kishou.go.jp">fk-kanku@met.kishou.go.jp</a> (ご意見・ご要望はこちらまで)	

## 「お天気 Q&A」

Q: もし空港で風を観測する装置がこわれたら?

A: 飛行機は、空港の風向きや風の速さがわからないと、着陸することができません。そのために風向風速計が、滑走路の両端に2つずつ(合計4つ)設置\*されています。\*福岡空港の場合仮に、これら全てがこわれたとしても、空港にはウィンドソックス(吹流し)があり、風向きや風の速さを観測することがます。



ウィンドソックス

## 気象情報へのアクセス

パソコン・スマホから		
気象庁	検索	
携帯から		
防災情報	検索	